

## ○大学院成績評価基準

1. 履修登録した科目のみに評価が与えられる。
2. 履修登録の取消をせず、すべての授業を欠席した科目にも、評価が与えられる。
3. 試験に合格し、研究報告により学修が評価された場合、所定の単位が与えられる。
4. 成績評価の基準  
A 80点以上            B 70～79点            C 60～69点  
P 合格                    R 認定（他大学院等で修得した単位を認定されたもの）  
D 59点以下（不合格 \*成績証明書には、記載されない）  
失格（\*成績証明書には、記載されない）  
－ ハイフン（評価なし、ゼミ継続）  
※ 修士論文、博士論文および最終試験の評価は「合格」、「不合格」または「－」（ハイフン：評価なし、ゼミ継続）とする。
5. 修士論文の審査基準
  - (1) 学術的な新規性または独創性を有すること。
  - (2) 新規で価値ある統計資料を有すること。
  - (3) 新規で価値ある事例分析を含むこと。
  - (4) 先行研究を把握・検証するとともに課題を示していること。
  - (5) 課題に対する自らの見解を論理的に展開していること。
6. 修士の学位に関する最終試験は、論文提出者の研究成果を確認する目的をもって、審査委員が修士論文を中心とし、口頭試問の方法によって行う。ただし、筆答試問を併せ行うことができる。
7. 博士論文の審査基準
  - (1) 新規性、独創性と十分な学術的価値を有すること。
  - (2) 研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識が示されていること。
8. 博士の学位に関する最終試験は、学位論文の内容及びこれと関連する学識と研究能力について審査するものとし、口頭試問の方法によって行う。ただし、筆答試問を併せ行うことができる。